

101 生駒山系グリーンベルト整備構想について

大阪府土木部ダム砂防課 宇野剛正、川口恵司、松田賢二、赤松巧一
財団法人 砂防フロンティア整備推進機構 ○下澤徹也、恩藤 真*

1. はじめに

大阪府を囲む山系の一つである生駒山系は、主に花崗岩で構成され、付近には生駒断層、大和川断層等の活断層があり、万一これらの断層の活動による地震が発生すれば、山腹崩壊等を引き起こす可能性がある。また、生駒山系の山麓域は、近年の経済に発展に伴う市街化の進行とともに住宅地が山麓に迫り続け、急斜面の直下に住宅が建ち並ぶなど、土砂災害の発生が高い地域である。

一方、生駒山系はその大部分が金剛生駒紀泉国定公園に編入され、大阪近郊における府民の憩いの場であるとともに、山系を覆う一連の緑は、都市景観に潤いを与えるほか、動植物の生育・生息の場としても重要な役割を担っている。

このような背景のもと大阪府では、「生駒山系グリーンベルト整備構想（案）」を策定し、生駒山系の山麓斜面において、土砂災害など自然災害に対する安全性を高めるとともに、自然環境の保全や緑豊かな都市環境と景観の創出などの機能を備えた樹林を主とする緑地帯を保全・形成を図ろうとするものである。

本研究発表では本構想（案）の概要を報告する。

2. 構想

2. 1 グリーンベルトの目的

生駒山系グリーンベルトは、生駒山系の山麓部に連たんする居住域の土砂災害に対する安全性を高めるため、生駒山系の山麓斜面に一連の緑地帯を保全・形成することで自然が本来備えている防災機能を高め、多様な防災効果を発揮させることを目的とした。

2. 2 グリーンベルトが目指す緑地帯

生駒山系グリーンベルトが目指す緑地帯として、グリーンベルトの目的および次の5つに機能1) 土砂災害防止、2) 生態系および種の多様性の保存・育成、3) 景観の保全・創出、4) レクリエーションおよび教育の場の提供、5) 土地利用の混乱防止を考慮し、以下のように設定した。

『災害防止効果が高く、多くの機能を発揮できる緑地帯の形成』

2. 3 対象範囲の考え方

生駒山系においては、市街地が土砂の発生域に迫っている状況が一般的であることから、原則として図1に示すように土砂の発生域をグリーンベルトの範囲とした。

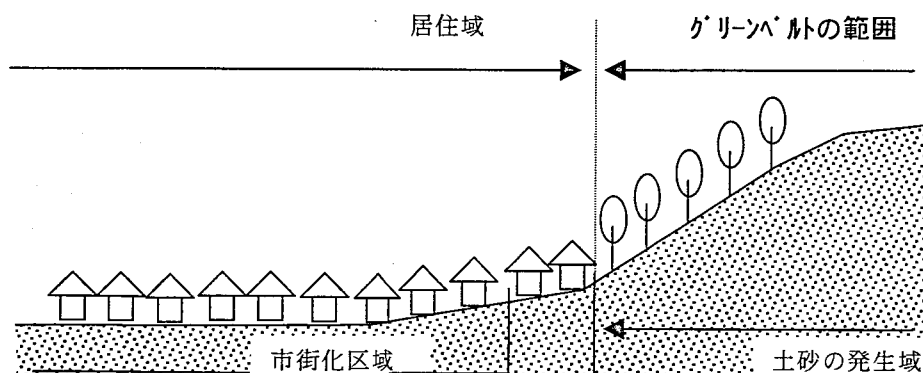


図1 グリーンベルトの範囲模式図

* 現勤務先：アジア航測株式会社

・土砂の発生域とは

砂防指定地、地すべり防止区域、急傾斜地崩壊危険区域、土石流危険渓流、地すべり危険箇所、急傾斜地崩壊危険箇所

山麓域に加え、市街地と土砂災害防止上必要な範囲の間に緑地等がある場合には、図2に示すようにグリーンベルトの区域に取り込むことにした。

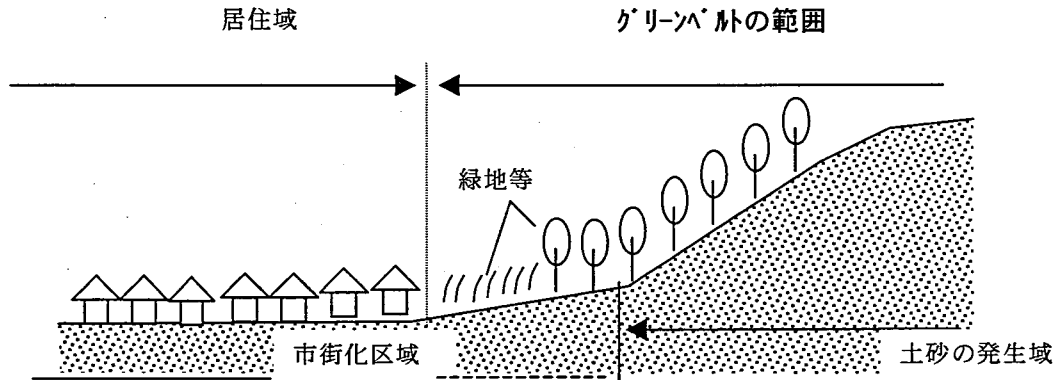


図2 グリーンベルトに取り込む範囲模式図

2. 4 緑地帯形成の考え方

生駒山系グリーンベルトの目的を達成するため、グリーンベルトとして設定した範囲では、緑地帯として整備、維持し、これを永続的に担保することとする。

緑地帯形成の考え方としては、図3に示すグリーンベルト対象範囲を土砂災害防止の観点から区域区分し、各区域に適した整備手法を展開していくものとした。

